



地域協働学校運営協議会だより

第9回（1月22日）運営協議会会議の概要です。

■日時 令和4年1月22日（土）14時～15時

■場所 戸塚第三小学校 ランチルーム

1 副代表挨拶

本日は作品展ということで、子供たちの素晴らしい想像力と発想力の物作りを見て、自分が当時6年生の時、りんご箱をマガジンラックに作り替え、新宿区の作品展に出すことになったのを思い出した。コロナ禍で先生方、関係者の皆さん、PTAの皆さんのお力で開催でき、子供たちが1番喜んでいると思う。登校時、家の前を通る兄弟に会い、「何が展示してあるの？」と聞いたら、「僕の〇〇〇の作品、見てね。」と言われ、早速見に行き、楽しい作品展だと思った。

2 学校の近況報告等について（校長）

○作品展について

- ・昨日と今日の2日間、作品展を開催。本来なら授業参観を計画していたが、まん延防止等重点措置のため中止。
- ・保護者の見学を分散して3回の機会を設けた。人数や時間を守り、協力いただいた。
- ・4年生の保護者に、受付、会場係をご協力いただいた。
- ・本来なら、作品を作った子供と会話をしながら一緒に見ていただくと、大人の目ではわからない作品の思いが伝わるのだが、それができなくて残念。そこを想像するしかないが、どの子も一生懸命に完成させているのを見て感じていただきたい。
- ・4月当初は学芸会の予定だった。作品展となると本来は前年度から準備を始め、1学期から作品を保管しておくが、急遽7月下旬頃から計画を立て始め、8月下旬に3学期に作品展の開催を決定した。
- ・例年、1月の学校公開に合わせて教室前に展示している書き初めを体育館で展示した。
- ・教員の頑張りで、準備期間が少なかった中、展示数は多く感じられた。

- 区より通知があり、来週から分散登校になる。1・2年生は、学級の人数が20名以下なので分けなくてよい。3～6年生は、学級を2分割し、午前グループと午後グループがそれぞれ3時間授業になる。
- 教育活動に制限があり、コロナ前のようにはいかないが、工夫していく。
- ホームページ「戸三日記」を見せながら、11月7日～1月14日を振り返る

3 作品展について

○図画工作担当

4月に着任した時は、今年度が作品展になると夢にも思っていなかった。夏になり、コロナ感染の状況がよくなると、校長から作品展の話があり、戸惑いながらも進めていき、昨日無事に実施となった。児童鑑賞日に、コロナ禍を過ごしていた子供たちが、体育館に入りとても大喜びする姿を見て、やってよかったと思った。実施するにあたり、校長に相談にのってもらい、副校長にはたくさん写真を撮ってスライドを作ってピロティで上映してもらい、学年の教員には書き初めや家庭科とお世話になった。また、体育館で作品展を実施したことがなく、主事に作品を飾れるように木枠を作ってもらい、学校全体の協力があり実施できた。お気づきのことがありましたら、お知らせください。

○家庭科担当

5年生を担当、6年生を時間講師と一緒に家庭科の授業を担当している。ミシンやアイロン、針と糸も初めてという子供が多く、説明するのに「針に糸を通す」ことが通じないところからの指導であった。かけずり回っての指導だったが、でき上がってみると、思ったよりよくできていた。今回は舞台の上での展示で華やかになり、戸三小の団結を感じた作品展になった。

○家庭科担当（時間講師）

6年生はエプロンを作成した。慣れて手際はよかったが、広い場所に生地を広げることがなかなかできなくて苦労した。「古着でリメイク」では、着られなくなった服を持ってくる際に、最近は古着をとっておいていない、譲ってしまう等の状況の中、工夫してエコバッグやクッションを作っていた。

中学年から環境問題を深く考える機会があり、古着も生活に活かしていけると思えたのがよかった。愛着のある物が別の物に生まれ変わり、いらなくなった物も大事に使っていく体験ができた。今後は江戸のエコを学習するにあたり、手ぬぐいをいただいたので、手ぬぐいの活かし方を学びながら環境の問題を考える機会にしたい。

(委員) とても感心した。先生方の努力、皆さんで考えられて、色使いが明るく発想が素晴らしい。大人では考えられない作品がたくさんあった。書道も入り、よいことしか思いつかない。

(委員) 作品数が多かった。子供たちの見てほしいという気持ちを強く感じた。ふだん挨拶ぐらいしかしていない児童に、「今日行くよ」と話したら、「僕は〇年生だけど、お兄ちゃんが〇年生だからそれも見て」と。とても身近に感じた。本当に子供が作ったのかと思う作品（6年「マイハウス」）があり、びっくりした。

(委員) 以前は、図書室、家庭科室、書道は教室に飾られていたが、全部集約して体育館に飾られ、作品が大きく見られ、戸三小美術館のようだった。絵も温かく、開催していただきありがとうございます。子供たちもコロナ禍で表現とか想像性教育とかで発表の場をいただけてよかった。家庭科もエプロン作りは昔からあるが、古着のリサイクルなど、SDGsが意識されていてよかった。

(委員) 全体的によくできていてよい。細かくてすごいと思って名前を見てみると、知っている子で、こういう発想をするのだとわかったので、勉強になった。

(委員) 戸三小にお世話になって、初めて一堂に会する作品展であった。体育館に入り、すごい迫力だなと思った。ここ2年間ぐらいの学校の様子を見る機会がほとんどない中、我が子の作品を見て、このようなことができるようになったのかと感じた。1年生のケーキの作品では、淡い色を使って細かい作業があり、ふだん見えない学校生活がぎゅっと凝縮さ

れているように感じた。個性が伸びている作品が多くあり、個性を引き伸ばしてくださっていることに感謝している。

(委員) 受付前に、制作風景のスライド上映があり、見入ってしまった。子供たちの作業風景、作品ができるまでの期待感などが感じられて、とてもよかった。

4 学校評価アンケート

2月10日までに学校へご提出ください。

5 来年度の地域協働学校協議会委員の委嘱について

6 その他

(委員) 作品展は、保護者以外の地域の方は見るのができないのか。感心したり元気をもらえたりするので、見てもらいたい作品がいっぱいある。

→ (校長) 区の指導の下、現在は保護者のみで、人数制限を設けて分散の鑑賞になっている。

(委員) 作品も多いのに残念。早くみんなで見られるときがくるとよい。

→ (副校長) 今回は作品展の立て看板を出していない。運動会の時、立て看板を出していたところ、地域の方から見学の申し出があり、お断りしたことがあったため。

(校長) 制作風景の動画は、まだ子供たちは見ていないので、機会を見つけて見せようと思う。

(副校長) 写真を1000枚くらい撮り、その中から約300枚使い作成した。

○教育支援課 社会教育指導員より

体育館に入り、習字はだるま筆で書かれていて、だるま筆は普通の筆に比べ難しく、練習しなければ子供たちも書けないと思う。書き初め用紙に大きく書かれている作品が多く、ご指導されている先生方の指導の賜だと思う。作品展を開催することは大変だったと思うが、皆さんで協力されて今日を迎えることができたのだと思う。戸三小の素晴らしさは、児童数は少なく、先生方の人数も大規模校に比べ少ないが、一致団結していく姿が見られるところだと思う。

